

# 立命館経済學

第十九卷 第一号

昭和四十五年四月

---

## 内 容

### 論 說

独占段階における独自の・資本制的生産様式……………坂 本 和 一 1

### 研究ノート

資本論における方法と世界観（中・その三）……………梯 明 秀 57  
——その残された諸問題の一つについて——

### 資 料

東ドイツにおける民主的土地改革と  
農業の社会主義化（一）……………大 藪 輝 雄 86  
——シュトラスブルグ郡の場台——

共同研究室…………… 122

立 命 館 大 学 経 済 学 会

論説

京都商人の商魂について(二)……………足立政男

—老舗の店則から見て—

研究

ジョン・ロックの経済理論とその

体系性……………稲村勲

研究ノート

資本論における方法と世界観(中、その一)

……………梯明秀

発行所 立命館大学経済学会

論説

実現理論としての成長理論……………建林正喜

高度経済成長過程における『自動

安定装置』と国家所有(素描)……………手嶋正毅

比較生産費説の展開……………清水貞俊

戦時労働市場に関する研究……………三好正巳

研究

ジョン・ロックの

経済理論とその体系性……………稲村勲

研究ノート

県民所得統計の

発展と県民所得標準方式……………後藤文治

資本論における

方法と世界観(中・その二)……………梯明秀

—その残された諸問題の一つについて

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会